



横浜のチャレンジする中小企業を応援します!!

IDEC
YOKOHAMA
(横浜市中小企業支援センター)

NEWS LETTER

NO.26 SUMMER 2018

(年4回発行)

<http://www.idec.or.jp>



[発行]公益財団法人 横浜企業経営支援財団 〒231-0011 横浜市中区太田町2-23 横浜メディア・ビジネスセンター7F TEL.045-225-3700 FAX.045-225-3737

企業現場に支援メニューを届けます!

～「地域密着型支援」を強化～

「忙しくて相談に行く機会がない」「IDEC 横浜がどんな支援をしているのかよくわからない」という中小企業経営者の方に、より気軽に支援メニューを活用してもらうため、4月から職員や専門家による企業訪問を強化しました。現場でお話を伺いながら、IDEC 横浜の支援メニューや横浜市、国の施策等をご提案し、中小企業の経営課題の解決を目指します。

■ 地域密着型支援担当を新たに設置!

企業訪問とともに、区役所・金融機関・工業会等と連携しながら、市内各地でセミナー・相談会を開催。各地域に密着した支援を強化するため、新たに「地域密着型支援担当」を設置しました。「自社の本当の課題がどこにあるのかよくわからない」という場合でも、職員や専門家が訪問して経営者の皆さまと一緒に課題を検証し、解決に向けて支援します。



現場で販売戦略の打合せ

■ これまでの企業訪問の現場から…

児童向け運動器具・体育器具のメーカーであるトクケン(港北区)は、2012年に大田区から横浜に移転、近隣の協力会社を探すことが課題となっていました。そこで、協

力会社の開拓に向けて、ものづくりコーディネート事業を活用し、フレーム溶接加工会社をはじめとした多数の企業と協力関係を築くことができました。また、最先端の粉体塗装設備の導入にあたっては、助成金の活用をサポート。新しい意匠粉体技術「ジオメトリック・パウダーコーティング」の開発が実現しました。

電子機器の開発・設計、試作、量産までを行うEMS企業の藤米電機工業(緑区)では、複数回の訪問を重ねながら、強みを引き出し、「横浜グローバルものづくり企業ガイド」の掲載やマッチング会などを活用して強みをアピール。大手企業からの受注に成功し、現在も様々な企業からの引き合いが続いています。

こうした事例をまとめた「IDEC 横浜支援成果事例集」は、IDEC 横浜のウェブサイトからもダウンロードできますので、ぜひご参照ください。



現場訪問による工場視察

■ 課題を先送りする前に…

事業承継や人材不足、生産性の向上など緊急ではないものの、解決に時間を要する課題への対応は、つい先送りになりがちです。早めに対応することで、様々な選択肢が可能となります。まずは、「IDEC 横浜 地域密着型支援担当」までご連絡ください。私たちが御社にお伺いします。

2社に栄冠。横浜型地域貢献企業プレミアム表彰企業

横浜型地域貢献企業認定制度が始まり10年が経過し、認定企業は459社に達しています（平成30年4月現在）。平成29年度から新たに、認定企業の中から他の企業の模範となる取組を行っている企業等を表彰する「プレミアム表彰」制度を設けました。平成29年12月に募集を行い、19件の申請がありました。

書類選考により8件に絞り、プレゼンテーションによる最終審査を行った結果、第1回プレミアム表彰に2社が選ばれました。受賞した両社は、横浜情報文化センターで開催した認定証授与式において、横浜を代表するCSR推進企業として横浜市長から表彰状を授与（当日は、市長所用により林経済局長が代行）され、認定企業の前で取組事例の発表を行いました。

「CO₂ゼロ印刷、環境印刷の推進」の取組で受賞した大川印刷（戸塚区）は、LED UV印刷機の導入により、従来比で70～80%の電力量削減によってCO₂を削減。印刷工程における溶剤のノンアルコール化や、洗浄液を有機溶剤中毒予防規則対象成分の含まないものに置換。さらに洗浄液の使用量を1年間で87%削減するなど、環境を意識した経営を進めてきました。その結果として、従業員からも「働きやすくなった」、化学物質過敏症の方から「ダメージが軽減した」という意見があるなど、労働環境改善の効果が認

められています。また、環境を意識した事業を推進していることが評判となり、大手企業からの新規受注につながるなど、着実に業績が伸びています。

「自分たちのまちを知ることもまち探検ツアー」の取組が対象となった、スリーハイ（都筑区）は、住宅と工場が混在する東山田地区で、自社に対する地域住民の理解を深めるため、工業団地内の中小製造企業を巻き込み、小中学校の社会科見学を継続的に受け入れる企業市民としての在り方が評価されました。

受賞した両社は、ステークホルダーのニーズを捉え、適切な取組を継続して実施し、業績に反映していることが表彰に結びついています。より優れたCSR活動に取り組み、新しいプレミアム企業が続々と誕生することが今後も期待されます。



大川印刷大川社長（左）とスリーハイ男澤社長（右）

横浜型地域貢献企業認定制度の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/keiei/csr/>

問 経営支援担当 045-225-3714

「横浜ものづくり企業ガイド」掲載を新たなビジネスチャンスに！

IDEC 横浜で毎年発行している「横浜グローバルものづくり企業ガイド（以下、ガイド）」は、市内中小企業の優れた製品や技術力を紹介するだけでなく、マッチングのための重要なツールとしての役割を担っています。IDEC 横浜のものづくりコーディネーター等がガイドを手渡ししながら、市内企業はもとより、大手企業や大学等を訪問し、連携の可能性が高い掲載企業をキーパーソンに直接紹介することで、多くの連携事例を生み出しています。これまでに大手企業との共同開発、大手企業から試作機の設計生産を受注、製品化で大学と連携、近隣の中小企業と協業体制を構築といっ

た事例が生まれています。

スチールの薄鋼板の加工を得意とし、オフィス家具をはじめロッカーや書庫といった箱物板金製品、さらにレジ台などの店舗用什器も作製している中込製作所（金沢区）は、2013年度版から毎年ガイドに掲載。原材料から完成品までの一貫生産体制が強みであり、昨年には塗装設備を刷新し、最新鋭のレーザータレパン複合機も導入しています。大手企業からの発注にも対応できる体制づくりに取り組みながら、ガイドに毎年度掲載してきたことが実を結び、掲載情報が協力企業を求めていた大手企業の担当者の目に留まり、筐体製品の大口受注獲得につながりました。

ガイド新号は、今年10月の発行に向け掲載企業を募集中です。人材確保にご活用いただけるよう、働きやすい職場づくりに向けた取組をPRする欄を新設したほか、通常の日本語版に加えて、希望する企業には新たに英語版もオプションとして用意しました。海外販路開拓にもご活用いただけますので、新たなビジネスチャンスのきっかけとしてガイドをご利用ください。



ガイド2017年度版と中込製作所（本文中掲載企業）

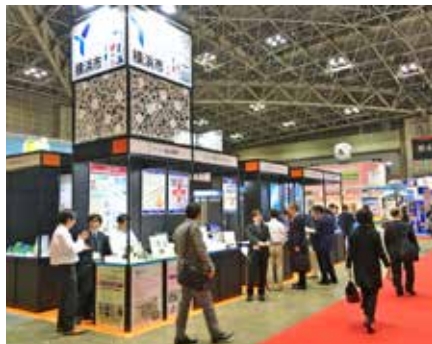
「横浜ものづくり企業ガイド」掲載の詳細・お申込み方法ははこちら <http://www.idec.or.jp/renkei/guide/index.php>

問 地域密着型支援担当 045-225-3725

Pick Up

優れた技術を医療機器分野へ！～「Medtec Japan 2018」出展報告～

4月18日から3日間、ビジネスの拡大を目指す多くの企業が注目する医療機器の専門展示会「Medtec Japan 2018」が開催され、会場となった東京ビッグサイトには、



横浜パビリオンは会場エントランス目の前の好立地

3万人を超える医療機器メーカー関係者等が来場しました。

IDEC 横浜は「医工連携推進事業」の一環として、横浜市内企業11社と共同で横浜パビリオンを出展し、

フレキシブルな超音波プローブ（探触子）や医師との共同開発による医療用器具、病院内で位置検知を行うシステムなど、高度な技術力をいかした医療分野向け製品を多数展示しました。出展企業からは、「新製品への反響を確認できた」「毎回必ず新規顧客を獲得できる」などの声が寄せられ、会期後まもなく行った調査によれば、横浜パビリオン出展企業の商談件数は約50件で、成約額は2千万円に及ぶ見込みです。

IDEC 横浜では、市内企業の医療機器分野における製品開発や、メーカー・医師とのマッチングなどを支援しています。各種支援メニューを通じて製品化に至った事例も生まれていますので、医療機器ビジネスの展開を検討の際はぜひご相談ください。

医工連携推進事業の詳細はこちら <https://t-ikou.idec.or.jp>

問 技術支援担当 045-225-3733

海外に輸出したい、海外からの引き合いを成約につなげたい！…ご要望に応えます。

IDEC 横浜では、今年度から“海外市場開拓の着手から商談実施まで一貫して支援する”「中小企業海外市場開拓支援事業」を行っています。今までは横浜市経済局で実施していましたが、今年度から、IDEC 横浜が担当することになりました。

1社につき1人のアドバイザーを選任し、輸出戦略の策定、顧客開拓、商品のPR方法、海外展示商談会出展、商談の進め方、外国語契約書等、海外市場開拓に関するアドバイスをしながら包括的に支援します。訪問アドバイスや電子メール・電話による在宅アドバイスをそれぞれ月2回、無料で行うことができ、きめ細かくバックアップします。

今まで50社以上の企業がこの事業を利用し海外市場開

拓に取り組んできました。製品は、食品、繊維・日用品、機械、機械部品、環境、バイオ、IT・ソフトウェアと幅広く、また、



成約につながり設置したユニメーションシステム（磯子区）の河川警報システム

国・地域は、東南アジア、欧米、中東、中国など様々です。貴社の輸出戦略策定、海外顧客開拓にぜひご活用ください。

（締切：12月28日、募集支援企業数に到達するまで随時募集）

中小企業海外市場開拓支援事業の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/kaigai/advance/index.php>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

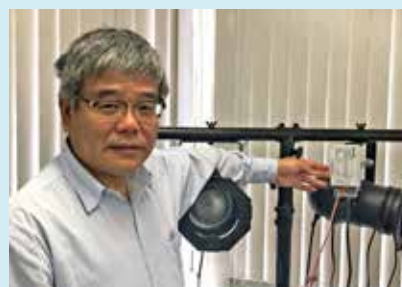
IDEC 横浜 上海事務所レポート 日本企業との協力で LED ドライバ市場を獲得する上海発横浜企業

ムーンズ社（上海市）は1994年に創業、FA（工場自動化）用モーターや電源装置を開発製造しており、昨年上海証券取引所に上場しました。2013年にはIDEC 横浜上海事務所が支援して港北区新横浜にMOONS' INDUSTRIES JAPAN（MOONS' 日本）を設立しました。LEDドライバは光を細かく制御できる新しい方式「DALI」に対応した製品をそろえており、DALIドライバで日本シェア6割を占めているといいます。最大光量の1%以下から100%まで広い範囲での調光が可能であることに加え、光量の増減がス

ムズであることがユーザーのニーズをつかみました。東京国際フォーラムをはじめ、多くの施設に採用されています。日本進出から5年足らずで実績を残している要因はLED化の流れだけでなく、日本の中堅照明機器メーカーとの強い信頼関係にあります。

欧米では既に定評のあるFA用モーター事業も、MOONS' 日本の陳嘉琦代表取締役は「ユーザーとの連携はすごく重要」と語り、工場の現場とのつながりを持つ日本企業との協力関係を強めて展開を図っていきます。MOONS' 社では日本企

業からの調達を期待しセミナーを日本で開催しています。IDEC 横浜はこのような横浜進出企業の連携も支援していきます。



陳嘉琦代表取締役と同社のLEDドライバ

上海事務所の詳細はこちら <http://www.idec.or.jp/shanghai/>

問 国際ビジネス支援担当 045-225-3730

■ 各種イベントのお知らせ

2018.7 ~ 9

イベント名 / 会場	日程 / 時間
自社の強みを見える化し売上アップへ！女性経営者ステージアップ講座（全4回） / IDEC 横浜大会議室 創業して数年が経ち、伸び悩んでいる女性起業家の方が突き抜けて成長するための講座です。4回の講座終了後、経営計画書の作成・運用について、講座参加者による定期報告会を開催します。（11月以降を予定）	7月10日(火)、17日(火)、 9月11日(火)、25日(火) 各回とも9:30～11:30
CSR 研修会【横浜型地域貢献認定 新規申請企業向け】（全3回） / IDEC 横浜大会議室 横浜型地域貢献企業認定制度の新規申請を希望する企業が対象です。ステークホルダーに対する取組や、適切なPDCAサイクルを構築するには、どのような社内体制をつくる必要があるのかをわかりやすく解説します。	8月2日(木)、22日(水)、 9月7日(金) 各回とも15:00～17:00

その他多数のイベントを開催しています。最新情報はウェブサイトをご覧ください。

IDEC横浜

検索

■ 台湾インターンシップ生受入企業募集中【締切：7月31日（火）】

台湾貿易センター（TAITRA）の機関である国際企業人材育成センター（ITI）学生のインターンシップ受入事業に伴い、横浜市内の受入企業を募集しています。

詳細は、国際ビジネス支援担当（045-225-3730）までお問合せください。

インキュベーション施設のご紹介（内覧は随時可能です。事前にお問合せください）

横浜金沢ハイテクセンター・
テクノコア

● 余裕の広さ！

65㎡～126㎡、多様なスペース

● 研究・開発・連携に好立地！

ウエット仕様、実験レベル「P2」対応



● アクセス

金沢シーサイドライン
 「産業振興センター駅」から徒歩1分
 首都高速湾岸線
 「幸浦ランプ」から2分
 横浜横須賀道路
 「並木IC」から4分
 （金沢区福浦1-1-1）



詳細は、金沢センター TEL 045-788-9570 まで。

横浜新技術創造館
リーディングベンチャープラザ

● 多様な広さ！

50㎡～100㎡、多様なスペース

● バイオ関連事業対応！

研究開発から製品開発まで対応可



● アクセス

JR 鶴見線
 「鶴見小野駅」から徒歩5分
 首都高速横羽線
 「生麦インター・汐入インター」
 から5分
 （鶴見区末広町1-1-40）



詳細は、鶴見末広センター TEL 045-508-7450 まで。

経営相談・技術相談・海外展開等支援など 専門家の無料アドバイス！

その他の施設の詳細は、IDEC 横浜ホームページ <http://www.idec.or.jp> 「施設のご案内」メニューから、各施設の入居募集案内をご確認ください。お問合せは、施設経営担当 TEL 045-225-3710 まで。



本号から、ニュースレターのデザインを変更しました。これからも、本紙を通じて市内中小企業の事例紹介や IDEC 横浜の支援メニューなど、皆さまにもっと知っていただけるよう努めてまいります。本紙について、ご意見、ご感想をお待ちしております。

また、今後、本紙や IDEC 横浜ウェブサイトの広告募集を行う予定です。詳細についてはウェブサイトに掲載しますので、ぜひ、事業所や商品などの PR にご活用ください。